



幼稚部 2月の様子



豆まき

今年も「2月2日に悪い子は山に連れていく」と鬼から手紙が届きました。鬼の苦手なものは何か話し合い、鬼が来たときに備えて準備をしました。

みんなで鬼が苦手な物を買いに商店街に行きました。スーパーに着くと自分の家の近所にあるスーパーの名前を教え合っていました。魚屋さんではたくさんの魚に「目が大きいよ」「イカもあるよ」とたくさんの発見があった様子の子供たちでした。

学校に帰ってからいわしを焼くと煙と共に魚の匂いが教室中に漂いました。鬼になりきり、魚の匂いをかいで逃げるマネをする子も。「これで鬼は逃げるね」とにこにこでした。早速焼き上がったいわしでやいかがしを作り、鬼が侵入してきそうな経路を考えて飾りました。

当日は子供たちで話し合い、1つの教室にみんなで集まり、豆を構えて鬼が来るのを待つことに。

「鬼は外！福は内！」と豆まきの練習もしましたが、いざ鬼が来ると怖くて隠れる子も。勇気を出して豆をまくと無事鬼が逃げました。その後、福の神が花びらをまきながらやって来て、「年の数だけ豆を食べてね」と書かれた手紙を一人ずつ渡してくれました。鬼が帰ってほっとした後は、豆だらけの教室をらいおん組の提案で2人1組になって、ほうきとちりとりを持って教室を掃除しました。

